

# 日本を支える

## KANSAIモノづくり企業

131

「アイボルトの浪速鉄工」。業界の通り名になっていることも多いだろう。っていると堀川忠彦社長「NC」はナニワ・カンパニーの略称だ。

は胸を張る。アイボルトは産業機械や金型など重量物の吊り上げ具。機械などに取り付けてワイヤなどで吊り上げる。トップメーカーを自負、「販売実績や日々のマーケティング活動などからシェアは5割を超える」と推計している。工場で、「NC」マークが刻印さ

### 浪速鉄工

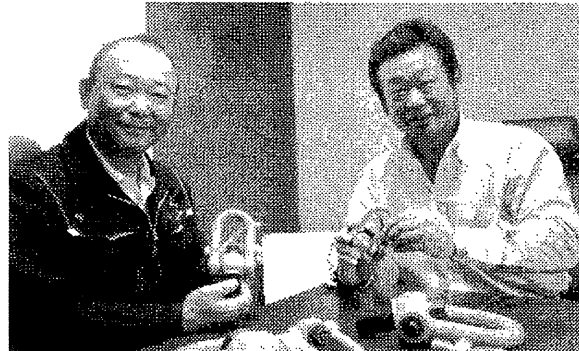
ルトは60年代末ごろから手がける。

堀川社長は「会社を継ぐ気はなかった」と言う。メガネのメーカー商社のバイヤーとして世界中を飛び回るやり手で、

仕事も地位も報酬も満足していた。浪速鉄工では武志社長が勇退、社員から社長を選び、安定経営を続けていた。が、堀川社長の実弟で生産統括の堀川真男専務は「投資な

# 吊り上げ具個別検品徹底

どの挑戦や攻めの姿勢が弱い」と将来に危機感を持っていた。堀川社長は「どうしても手伝ってほしい」と説き伏せられ、06年社長となった。



アイボルトを手に語る堀川忠彦社長

10年に開発した「マルチアイボルトハイブリッド」だ。「マルチ」をベイスに、同じポディーサイズで直径の異なる複数

所や社長室を改装、作業着はポロシャツになった。忘年会では勝負服コテンノストを開く。「おしゃれ心は顧客ニーズの気づきや気配り、製品開発の感性を磨く」との考えからだ。実際に社員の意欲を下支えし、成長の一因にしてきた。おしゃれの奥の手はたくさんあるそうだが、「いざれ披露」と笑う。

主力事業はもちろんアイボルトで、売上高(11年6月期は約17億円)の半分を占める。中でも力を入れているのが、自社ブランドの「マルチアイ

て360度回転、さらに180度可動し、横つりでも常に吊り上げ軸を保つ。01年末に特許取得した。

品だから」と、専任者による1個検品を実施、品質に目を光らせている。堀川社長は就任の際、「元気でおしゃれな会社

に」と呼びかけた。事務

西日本

(火曜日掲載)

▽社長 堀川忠彦氏▽所在地 大阪市港区弁天3の6の15、06・6571・2171▽従業員 40人▽製品 1 アイボルト、ターンバックル、各種精密型打鍛造部品など▽URL 1 www.naniwa-iron.com